

## 41週 救いの手段

**質問 85. 罪のよって付加された、神の怒りと呪いから避けられるように、神が私たちに求めているのは、何ですか。**

**答え I** 罪によって付加された、神の怒りと呪いから避けられるように、神が私たちに求めることは、イエス・キリストに対する信仰と、命に至らせる悔い改めです。外的な手段を熱心に用いることで、キリストが、贖いの有益等を私たちに伝達してくださいます。

### 解説

#### 神が用意なさった方法

神は、罪を犯した人間を救うための方法を用意されました。アダムが墮落するとすぐにキリストを約束し、キリストを通して神の怒りと呪いから避けられるようになさいました。アダムは、約束されたキリストを通して神と和解することができました。私たちの罪に対する神の公義は、怒りと呪いですが、神は、ご自身の愛を根拠にして、怒りと呪いを避けられるように道を備えたのです。

神は選ばれた民を救うために、何よりも先に、自分自身は罪人である事実を知るようにさせます。そして、罪には必ず、神の審判があることを悟るようにさせます（ヨハネ 16:8）。カインが罪を犯した時、神は彼に訪れ、罪をさらけ出

し、責めるだけでなく、審判を宣言なさいました（創4章）。それは、カインによって罪を悟るようにさせて、神に赦しを求めるようにさせようとの方法でした。イエスさまも同じ方法を使用されました。イエスさまは、サマリヤの女の罪をさらけ出します（ヨハネ4章）。それは、罪を悟らせた後に、神の怒りと呪いから避けられる方法を探すようにさせようとのことです（イザヤ55:1、マタイ11:28、使徒2:37）。

### キリストの贖い

人は律法を満足させられないので、自分の行為と功勞によって救いを獲得することができません。律法を守ろうとするが、守ることができず、むしろ、罪だけが更に増加するだけです（ロマ7:8）。従って神側で、このような罪人を救い出せる方法を用意するしかありませんでした。それだから神は、キリストを用意しました。キリストは人間の体を着て、この地に来られ、律法に完全な従順をし、罪に対する刑罰を担われたことで、贖いを獲得されました。キリストは、贖いによる有益などを聖霊を通して（エペソ2:8、Ⅱテモテ2:25）私たちに伝達なさることで、私たちが赦しを受け、キリストの義が私たちに転嫁され、神の審判と呪いと刑罰から避けられるようにしてくださいました。キリストによる、このような有益は、私たちの行為と功勞によって得られるのではなく、神が恵みによってくださるものです（ヨハネ6:37、使徒17:30）。

### 内的な手段

神は、キリストの贖いによる有益を得られる方法を定めました。それは、聖霊の働かれる方式ですが、常に、悔い改めが同伴され、キリストに対する信仰とか、内的な手段です。内的な手段は、私たちが罪人であることを悟って、救

いを渴望する中で、聖霊が恵みによって与えるものです。自分自身のどのような行為によっても、救われることのできないことを悟って、ただ神の恵みによって赦されることを求める時、恵みによって得られることです。また、自分の汚れと不正不義を悟って、その不義が覆われることを渴望しながら求める時、恵みによって得られることです。

神は、このような内的手段を用意なされたことで、罪を悟った罪人を、ますます謙遜にさせ、恵みの貴重性を悟らせます。神が用意なされた救いが、どれほど貴重で大切なのかを知るようにさせるのです（ヘブル2:3）。

それゆえ、キリストに対する信仰とは、キリストの御前に完全に屈服されて、贖いの有益などを求めることを意味します。この信仰は、悔い改めが常に同伴され、すでに自分の罪に対しては恐ろしさを経験したので、それを無くそうと努力もしたが、自らの力ではできないことを悟っているからです。それで罪を嫌悪しながら憎むのが、その心に靈的習慣として形成されているため、信仰と常に一緒に行くのです。

### **神に対する悔い改めと、キリストに対する信仰**

使徒 20 章 21 節には、「神に対する悔い改めと、私たちの主イエスに対する信仰とを証言した」と、パウロの言葉が記されています。ここでパウロは、「悔い改め」は神に対してすることと、「信仰」はキリストに対してすることだと述べています。悔い改めと信仰という客体について、御父とキリストを分けて説明しています。

ここには、福音の真髓が含まれています。神に対する悔い改めと描写されている理由は、悔い改めるためには、罪を知らなければならない、罪を知るためには律法を知らなければならないからです。律法を知るようになれば、律法の

制定者である神を知るようになっていますが、罪を悟ること事態が、神に敵対したことを知ることです。従って、悔い改めを、神に対してすることと語るのです。父なる神が、御子にあつて贖いの恵みを用意されたので、罪を悟った罪人は、赦しと自分の不義を覆える恵みが、御子のうちにあることを聖霊を通して知るようになります。それで、その人は聖霊の御業を通して、キリストに対する信仰を持つようになり、キリストに出て行けるのです。

### 外的な手段

悔い改めと信仰は、神の定められた内的な手段です。このような内的な手段は、神の定められた外的な手段である、みことばと祈りを一生懸命に使用することで得られることです。信仰は、ただ神のみことばを聞く中で、起こされます(ロマ 10:12-17)。悔い改めと信仰は、このように神のみことばを聞き、考える中で聖霊の御業によって起こされます。従って、外的な手段は必ず必要です(使徒 4:12, ガラテヤ 3:22)。これは、神の定められた手段として、神の救いの計画のうちに用意された方法です。従って、神のみことばを聞かずに、祈りもしない中で、救いが起こされる可能性はありません(勿論 選ばれた民の幼児が死んだ場合は例外です。「ウエストミンスター信仰告白書」10章3項 参照)。